

唐津のスローツーリズム
桃山文化をたどるトレッキング

九州オルレ 唐津コース



お問い合わせ先

観光案内	
名護屋城跡観光案内所	0955-82-5774
鎮西観光案内所（道の駅桃山天下市内）	0955-51-1052
唐津駅観光案内所	0955-72-4963
呼子観光案内所	0955-82-3426
宿泊	
I 国民宿舎 波戸岬	0955-82-1511
II 観光ホテル大望閣	0955-82-1711
III ちか崎別館	0955-82-2144
IV 安兵衛	0955-82-5098
V 民宿富士	0955-82-1737
VI 民宿幸	0955-82-4382
唐津市旅館協同組合	0955-72-2015
お食事	
A いかの活き造り 大和	0955-82-3643
B 松寿司	0955-82-4416
C 桃山亭 海舟	0955-82-4545
D 千生ひょう太	0955-82-2917
E 大手門食堂	0955-82-5026
F サザエのつば焼き屋台 元祖	0955-82-5972
G サザエのつば焼き屋台 新店	0955-82-4774
交通	
【鉄 道】JR唐津駅	0955-72-5801
【バ ス】昭和バス バスセンター	0955-73-7511
【タクシー】鎮西タクシー	0955-82-2121
玄海タクシー	0955-52-2222
昭和タクシー 呼子営業所	0955-82-3814
昭和タクシー 唐津営業所	0955-74-1234
唐津観光タクシー	0955-74-1013
病院	
本告医院	0955-82-1008
唐津赤十字病院	0955-72-5111
済生会唐津病院	0955-73-3175
消防本部 救急医療情報案内	0955-73-0043

オルレとは

「オルレ」は韓国・濟州島から始まったもので、もともとは濟州島の方言で「通りから家に通じる狭い路地」という意味。自然豊かな濟州島で、トレッキングする人が徐々に増え、「オルレ」はトレッキングコースの総称として呼ばれるようになり、今では韓国トレッキングの中心的コースになっています。オルレの魅力は、海岸や山などを五感で感じ、自分のペースでゆっくりとコースを楽しむところにあります。

九州オルレ

九州オルレは、濟州オルレの姉妹版。濟州島と同じように九州には四季の美しい風景があり、トレッキングに適した山岳を五感で感じ九州の魅力を再発見してもらいたい。そのような思いで、九州オルレのコースを整備しました。

オルレの歩き方

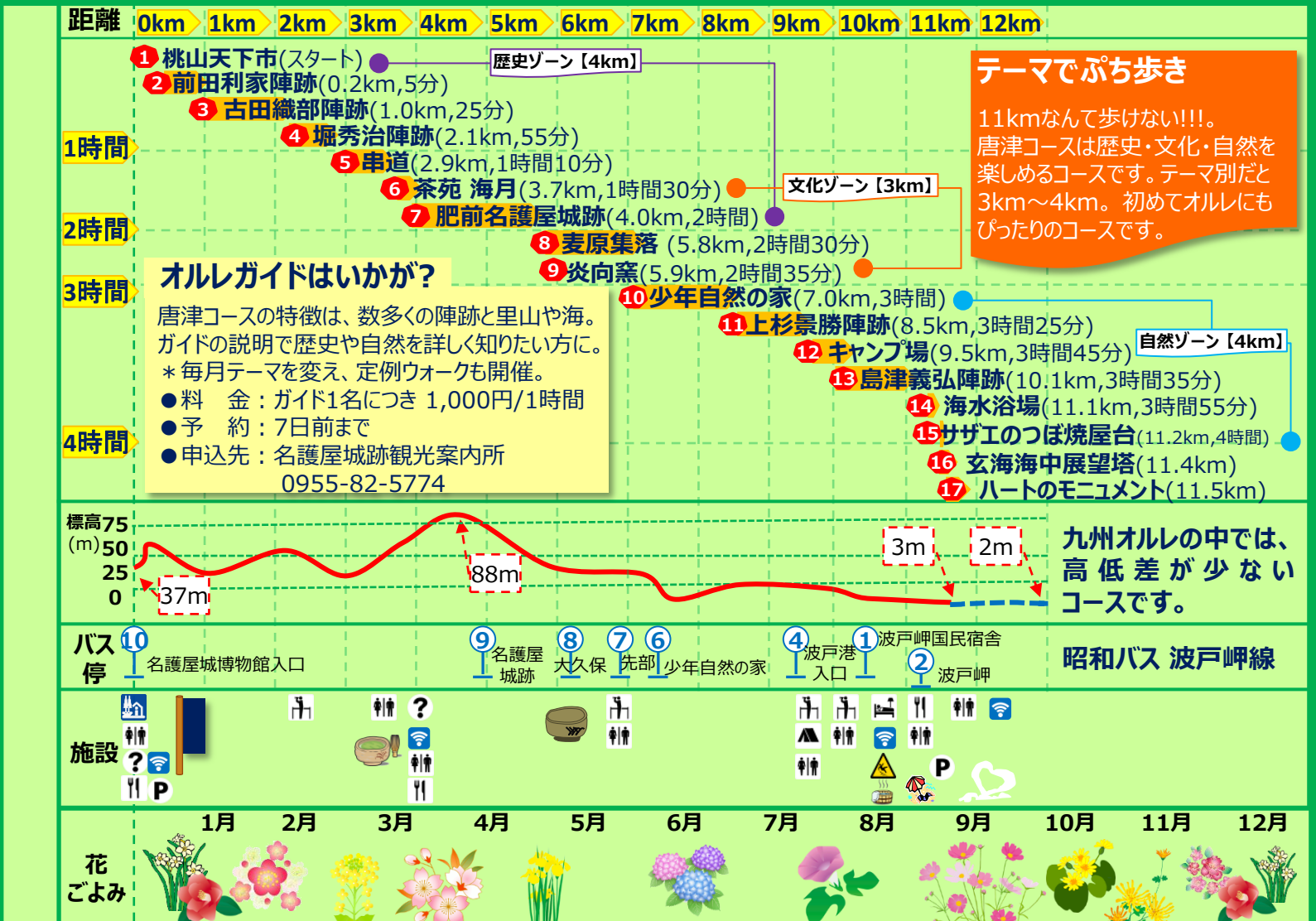
コース内の要所には「カンセ」と呼ばれる濟州島の馬をモチーフにしたオブジェや青と赤のリボン、木製の矢印やペイントされた矢印などの標識を設置しています。目印に沿って歩きましょう。スタートからフィニッシュ地点へ向かう場合は「青」、フィニッシュからスタート地点へ向かう場合は「赤」で示しています。

ガイドとオルレ（有料）

- 唐津オルレガイド
 - 定例ウォーク（毎月テーマを変え、みんなで歩きます）
- 【問合せ】名護屋城跡観光案内所 0955-82-5774

オルレのマナー

- 1 民家の庭にみだりに入らない。
- 2 人や個人のをを撮影するときは同意をもらう。
- 3 ゴミは必ず持ち帰る。
- 4 道沿いの農作物を勝手に採らない。
- 5 道端に咲いている花や木の枝を採らない。
- 6 民家付近等で大声で叫んだり、騒いだりしない。
- 7 次に訪れる人のために、リボンを持ち帰らない。
- 8 道案内の看板にはさわらない。
- 9 未舗装の道は、決まった経路を通る。
- 10 風景を楽しみながらゆっくりと歩く。
- 11 車道を歩くときは、車に気を付けて歩く。
- 12 コースから外れた急傾斜地等での危険な行動は控える。
- 13 旅行者や地元住民の方々と笑顔で挨拶を交わす。



交通アクセス



- 福岡空港から 唐津へ**
- 【地下鉄空港線】+【JR筑肥線】（所要:約1時間30分）
福岡空港駅⇨JR唐津駅 *相互乗入,直通または筑前前原で乗換
 - 【高速バス】昭和バス「からつ号」（所要:約1時間30分）
国内線バス乗り場⇨唐津バスセンター
 - 【車・タクシー】（所要:約1時間）
福岡都市高速→西九州自動車道→唐津IC
- JR博多駅・天神駅から 唐津へ**
- 【地下鉄空港線】+【JR筑肥線】（所要:約1時間10分）
JR博多駅⇨天神駅⇨JR唐津駅 *相互乗入
 - 【高速バス】昭和バス「からつ号」（所要:約1時間10分）
博多駅バスターミナル⇨天神バスセンター⇨唐津バスセンター
 - 【車・タクシー】（所要:約1時間10分）
福岡都市高速→西九州自動車道→唐津IC
- 佐賀空港・佐賀駅から 唐津へ**
- 【空港バス】+【JR唐津線】
佐賀空港⇨佐賀駅（所要:約20分）
JR佐賀駅⇨JR唐津駅（所要:約20分）
 - 【車・タクシー】（所要:約1時間30分）
国道49号線→県道313号線→国道48号線→厳木多久
有料道路→国道203号線→国道202号線



- 唐津中心部から名護屋へ**
- 【公共交通】昭和バス 所要:約40分
唐津バスセンター⇨名護屋城博物館入口
●名護屋循環線 ●呼子乗換 波戸岬線
* JR唐津駅⇨唐津バスセンター（所要:徒歩5分）
 - 【車・タクシー】（所要:約1時間30分）
唐津バイパス(国道202号線)→県道23号線→県道47号線→国道204号線→道の駅桃山天下市
* 県道301号線、波戸岬第1駐車場へ駐車し、路線バスでスタート地点へ移動する方法が便利。

 KYUSHU OLLE!!!

KYUSHU | OLLE!!!



堀秀治陣跡

ちやえん かいげつ
茶苑 海月(呈茶体験)

A photograph showing two hikers from behind, walking away on a dirt trail through a dense forest. The hiker on the left is wearing a blue jacket and a backpack, while the hiker on the right is wearing a purple jacket and a backpack. The trail is surrounded by tall trees and lush green foliage. A red circle with the number '5' is overlaid in the top left corner of the image.

しみち
串道 -400年続く道-



なごやじょう あと
名護屋城跡

【観光案内所】？
ガイドの案内で城跡
散策はいかが？

【電話】予約制
名護屋城跡観光案内所
0955-82-5774

通りはほとんどが
農家で、農村の
昔ながらの佇まい
を見せる集落。
「名護屋城図屏
風絵」にも描かれ
ている。

岸岳八窯を始源窯とされ、古くより親しまれている唐津焼。秀吉が朝鮮出兵した際、連れて来られた陶工達により発展したとされる。歩向窯では窯と納屋を改装したギャラリーを見学することができる。

【電話】0955-82-6022
【時間】AM9:00～PM5:00
【休み】不定休




 はどみさき しょうねんしぜんのいえ
波戸岬少年自然の家

おもに青少年の合宿等に利用される施設。また、敷地内の「波戸の森」付近は足利義明陣跡。ブランコに乗り海風が吹かれてみるのもおすすめ。

フィニッシュ後の楽しみは波戸岬名物「サザエのつぼ焼き」。玄界灘の荒波の中で育ったサザエを焼く磯香と醤油の香ばしい香りが漂う。

しまづ よしひろじんあと
島津義弘陣跡

遊歩道の木立の中に石
罫が残る。文禄・慶長の
役では朝鮮・明軍から恐
れられる存在であった。

うえすぎ かげかつ じんあと
上杉景勝陣跡

四季折々の山野草が咲き乱れる花の道。地元ではここを「えちじん」と呼び、家臣「直江兼続陣跡」も隣接した海沿いにある。

17 オプション

ハートのモニュメント

「恋人の聖地プロジェクト」サテライトに認定された、ロマンティックなロケーション。

境省が認定する日本の渚百選
も選ばれている小さな海水浴場。

に吸い込まれるようなポイントや、
状節理の絶壁、玄界灘が一望
できるビューポイントがあり、唐津コ
スならではの風景が見られる。

10

A photograph of a person in a white shirt and blue pants performing a handstand on a tree branch. The person is upside down, with their legs spread wide. The background shows a dense forest with green foliage. A red circle with the number '10' is overlaid on the top left of the image.

（はどみさき しょうねんしぜんのか）
波戸岬少年自然の家

おもに青少年の合宿等に利用される施設。また、敷地内の「波戸の森」付近は足利義明陣跡。ブランコに乗り海風が吹かれてみるのもおすすめ。